35 01 10 05 02 012

事務事業評価表

１．基本事項

作成日　平成25年06月12日(水)

事務事業	青少年相談支援事業	担当課	こども青少年課	担当係	青少年育成係	管理番号	3516
総合振興計画 基本戦略	000004 少子高齢社会をこころ豊かに暮らせるまちづくり	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□		
総合振興計画 主要プロジェクト	000003 次代を担う人づくりプロジェクト				サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	000003 次代を担う人と文化を育むまちづくり<教育・文化>	根拠法令個別計画等	深谷市青少年相談支援事業実施要綱				
行政計画分野別施策名 中項目	000003 健全な青少年の育成						
行政計画分野別施策名 小項目	000002 健全育成の環境づくり						

事業概要	ひきこもりなどの社会的自立の遅れと不適応にある青少年に対し、ひきこもり等相談室や講演会等を実施するものである。
目的 ※何のために	次代の担い手である青少年のうち、社会的自立の遅れと不適応にある青少年に対して、心身共に健康で社会的に自立することを目的とする。
対象 ※誰・何を対象に	青少年（おおむね１５歳以上（中学生は除く）３４歳以下の者）
手段 ※どのように	ひきこもり等相談室や講演会等を開催する。
成果 ※何を求めるか	ひきこもり等社会的自立の遅れと不適応にある青少年やその家族、関係者に対して、不安の軽減を図ることやその症状について適正な理解をする。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	青少年育成費	青少年相談支援事業	226,040
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ ひきこもり等相談業務	・
・ 講演会の開催業務	・
・	・
・	・
・	・
・	・

２．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

区分			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年度別計画						ひきこもり等相談室		
						講演会の開催		
						Ｈ２３年１０月から事業開始		
事業費	予算（現額）		0	0	0	258,000	452,000	452,000
	決算額		0	0	0	162,325	226,040	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	162,325	226,040	452,000
人件費	従事職員数(人)		0.00	0.00	0.00	0.37	0.47	0.52
	人件費相当試算※１		0	0	0	2,845,300	3,588,450	4,105,920
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			0	0	0	3,007,625	3,814,490	4,557,920

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	相談窓口の開催回数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	3.00	3.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			月３回窓口を開催することを各年の目標値として設定する。						
		実施回数（保健師・臨床心理士）									
■	活動指標２	講演会の開催回数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			年１回講演会を開催することを各年の目標値として設定する。						
		実施回数									
□	成果指標１	窓口の相談者数	目標値	人							■
		（年間相談員への相談者延べ数）	実績値		0.00	0.00	0.00	12.00	18.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			なし						
■	成果指標２	講演会参加者数	目標値	人	0.00	0.00	0.00	120.00	120.00	120.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	94.00	86.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			会場である公民館の会議室の収容人数						
		参加者数									
■	効率指標１	参加者１人あたり費用	目標値	千円							■
		総事業費／相談室・講演会参加	実績値		0.00	0.00	0.00	28.37	36.67	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			なし						
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 ひきこもりなどの社会的自立の遅れと不適応にある青少年を支援するために、ひきこもり等相談室を月３回開催し、講演会を年１回実施することができたのでＡ評価とした。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 ひきこもり等相談室は、２年目であるが引き続き相談室の周知を図るため、市内においてＰＲする必要がある。また、講演会は、目標値の約７割の８６名の参加があり、ニートやひきこもりに対して周知できたことからＢ評価とした。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	－	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 本事業は、自立に向けた青少年とその関係者への支援といった事業であるため、目標値の設定は難しい。新規事業として２年目であり、今後も引き続き事業を展開する必要がある。

評価者	青少年育成係長　中村優一

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	青少年相談支援事業	担当課	こども青少年課	担当係	青少年育成係	管理番号	3516

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

ひきこもりやニートなどの社会的自立の遅れと不適応にある青少年の自立やその家族等の不安の軽減、また、支援者のひきこもりやニートへの理解を深めることを目的に事業を実施している。相談室は、市民へ周知するため、引き続きＰＲが必要である。また、講演会についてはアンケート結果から、ひきこもりやニートの青少年との向き合い方について、多くの方が理解をしたと回答をいただいていることから今後も引き続き事業を実施する必要がある。

評価者	こども青少年課長　岩本京子

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

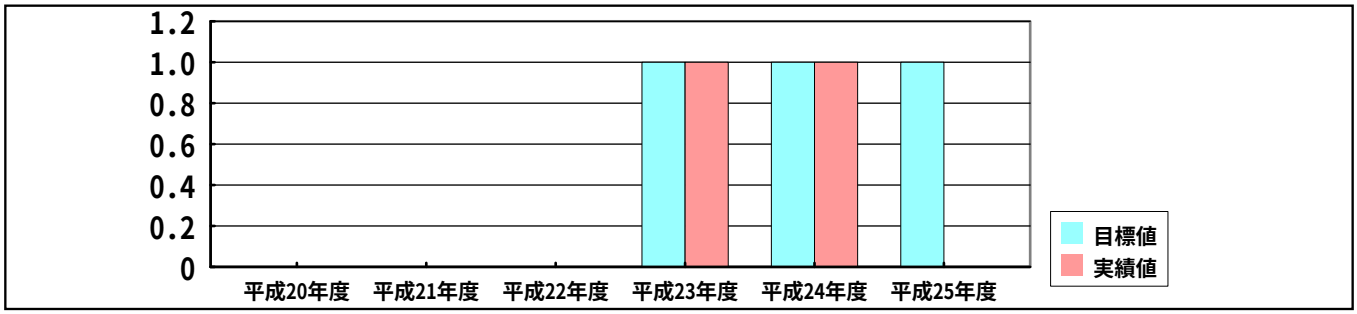
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

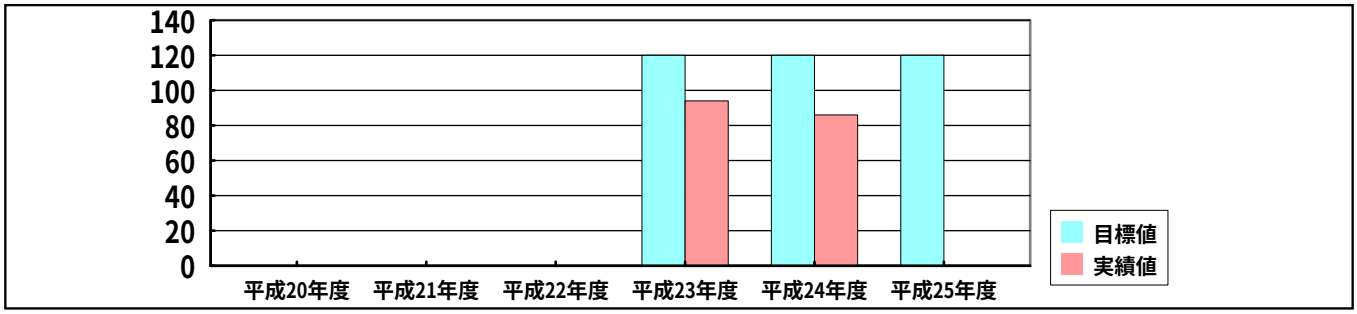
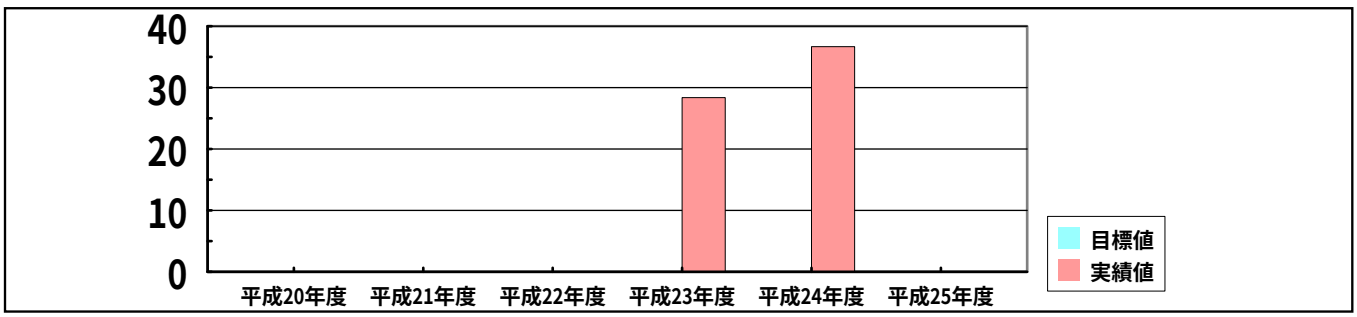
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標２	指標名	講演会の開催回数



区分	成果指標２	指標名	講演会参加者数



区分	効率指標１	指標名	参加者１人あたり費用総事業費／相談室・講演会参加